

# Labo News

## らぼニュース

発行所 公益社団法人愛知県臨床検査技師会  
住所 名古屋市中村区名駅5-16-17  
花車ビル南館 〒450-0002  
電話 052-581-1013  
FAX 052-586-5680  
ホームページ <http://www.aichi-amt.or.jp/>  
Eメール [aamt@aichi-amt.or.jp](mailto:aamt@aichi-amt.or.jp)  
取引銀行 三菱東京UFJ銀行 柳橋支店  
普通口座731-677  
発行人 梶山広美  
編集人 山田 真

## No.400 目次

- ◆平成27年度の日臨技定時総会について… (2)
- ◆第16回愛知県医学検査学会を終えて… (3)
- ◆平成27年度  
『禁煙週間』及び『歯と口の健康週間』に  
おける街頭キャンペーン活動報告… (4)
- ◆第64回日本医学検査学会報告… (5)
- ◆地区だより… (5)
- ◆JAMT技術教本シリーズが5月15日  
日臨技から発刊されました。… (6)
- ◆平成27年度中部圏支部輸血研修会… (7)
- ◆基礎講座… (7)
- ◆AiCCLS 愛知県臨床検査標準化協議会  
通信 (第36回)… (8)

## 愛臨技総務部門の近況報告と平成27年度の取り組み

総務部門担当副会長 藤田 孝

総務部門は庶務部と会計部から構成されております。総務部門(庶務部および会計部)の定例業務として、会員および会員施設の掌握、文書管理、総会開催に関する準備、理事会等会議の準備と議事録管理、表彰関係業務、各部や地区の会計処理、予算書類や決算書類の作成・管理などを行っております。我々役員は本来の職場業務があるため、なかなか実働することは難しく、業務のほとんどは事務員が行っています。事務員として長年愛臨技の業務を支えてきてくださったのは、安部さんと川崎さんというお二人です。今の役員よりも長く業務に携わってくださっているため、役員よりはるかに業務を把握してくださっていました。毎月のらぼニュースの発送や各種問い合わせへの対応、数年前では会費の請求書や領収書の滞りない発行・発送、さらには、会計簿の管理まで事務業務全般にわたって円滑に作業してくださっていました。その安部さんと川崎さんが7月下旬に退職されることとなりました。長年にわたる当会への献身的な貢献に対し、梶山会長とともに会員を代表して謝辞を述べたいと思います。たいへん大きな戦力の喪失となるため、今後の総務部門業務の円滑遂行に若干の不安がありますが、お二人の業務を引き継いでもらうべく4月から新たに1名の事務員を新規採用いたしました。短い期間での引き継ぎとなってしまうため、十分引き継ぐことは難しいかと考えますが、役員も一緒になり業務が滞ることのないよう遂行したいと考えております。

さて、当会は平成25年4月に公益社団法人として認定を受けてから2年が経過しました。新しい法人制度に移行した法人は、移行後3年以内に法人監査が実施されます。当会は2年を過ぎましたので今年度中、おそらく10月か11月に法人監査が実施されると思います。

まずは法人監査で大きな指摘を受ける事のないよう、しっかり準備を行うとともに、6月20日に開催いたしました定時総会でご報告させていただいた事業計画を役員一同しっかりと取り組んで参りますので、今後とも会員の皆様のご理解・ご協力をお願いいたします。

# 平成 27 年度の日臨技定時総会について

副会長 所 嘉朗

平成27年5月23日(土)午前10時より、大森REIホテルフォレストルームにおいて平成27年度定時総会および表彰式が開催されました。中部圏支部から代表して副議長の任を拝命しましたのでここに報告させていただきます。

まず、総会が成立するためには定款第19条にあるように総正会員数の過半数の出席が必要となります。この点について資格審査委員長から正会員数が52,554名で過半数として26,278名以上の出席が必要であり、本日総会への出席者数が29,936名であるとの報告がなされ、これにより総会は成立し審議に入りました。日臨技執行部より提案された議題は三つで、【第一号議案】監事の選任について、【第二号議案】定款の変更について、【第三号議案】平成26年度事業報告及び決算についてでした。【第一号議案】監事の選任についてと【第三号議案】平成26年度事業報告及び決算については「承認」が過半数を超えたため承認されました。しかしながら、【第二号議案】である定款の変更については、定款第50条により総正会員の議決権の3分の2以上が必要とされており、これによれば35,036名以上の出席がなければなりませんでしたが、出席者数が29,936名(56.96%)

であり議案の審議ができませんでした。この結果を受け、日臨技として今後検討する旨のコメントがありました。ちなみに定款の変更の内容は、定時総会の開催を5月から事業年度終了後3か月以内とすること、副会長の複数化、理事会の開催を年4回から6回とすることです。これらは今後の医療の変化に対応できる組織への変革で、是が非でも承認していただきたかった議案でした。今年度より議決権行使の方法として電磁的方法が導入されましたが、まだまだ普及されておらず今後の会員への周知が望まれます。

議案としては提示されませんでしたでしたが、技師会の目的達成のためには都道府県技師会との連携、協力が不可欠であり、日臨技の正会員は臨床検査技師免許を有し都道府県技師会に入会していることが必要と考えます。

今後、少子高齢化が進み臨床検査分野にも介護や認知症の問題が入ってきてどのように対応していくか検討しなくてはいけなくなると予測されます。日臨技および愛臨技での早め早めの対応が必要と考えます。会員の皆さん、積極的に技師会に参加し、協議していきましょう。

## 広報部からのお知らせ

下記の講習会を愛臨技HP「検査技師の皆様へ」・「愛臨技・研究班行事 参加申し込み」で受付しております。

平成27年度「検査説明・相談ができる臨床検査技師育成講習会」

## お詫びと訂正

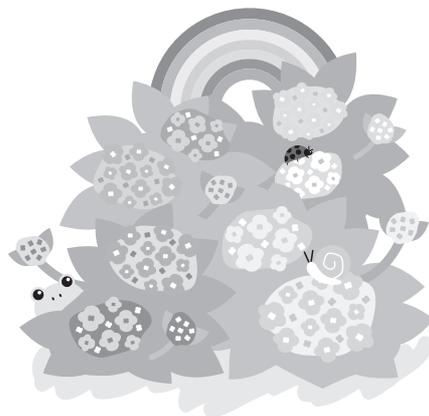
らぼニュース6月号で間違いがありました。お詫びし下記に訂正をお願いします。

巻頭言 本文19行目

■ 誤 資料発送を8月23日に

□ 正 試料発送を8月23日に

お詫びして訂正いたします。



# 第16回 愛知県医学検査学会を終えて

学会長 田中規雄（豊橋市民病院）

去る5月31日に第16回愛知県医学検査学会を東三河地区で開催しました。会場は豊橋でしたが、この会場確保には苦勞しました。というのは当初予約を入れていた会場が資産整理（倒産？）に入ったとの噂が8月、あらためて会場を探し、今回の会場を9月に入って確保ができました。

さて、学会には554名の参加が有り、愛知県の東端である豊橋に多くの会員の方がお越しいただいたこと、あらためて感謝いたします。そして学会では一般演題に41題のエントリーが有り、有意義な意見交換ができたと思います。公開講演として海洋“楽”

研究所所長の林正道氏に「海洋“楽”のススメ」と題し講演をいただきました。廃材を使った海洋生物のロボットを通じて、命の尊さを伝えてくれました。講演の中で一緒に活動するボランティアを募集していましたが、早速会員の中から手が上がったと聞きました。うれしいことです。



また、今回の学会では日臨技の宮島会長の教育講演も企画しました。我々も学会企画の段階で、これからの臨床検査技師についてのシンポジウムを考えていた最中、宮島会長の話が有り全体としての道筋が出来上がってきました。「これからの臨床検査技師」これは永遠の課題であり、答えは時代で変わるとは思います。考え続けることが重要であると考えます。そして公開シンポジウムのシンポジストには臨床工学技士と看護師に講演をお願いしました。他職種から見た臨床検査技師への期待を述べてもらい、更に病院経営の立て直しを迫られ改革を進めた新城市民病院技師長の井上技師から、その時の苦勞話を講演してもらいました。会員の皆さんが、このシンポジウムから何か一つでも感じる事ができたならば幸いです。

学会終了後は、愛臨技主催の祝賀会・懇親会が開催され、176名の会員及び賛助会員、さらに講師の方々の参加で楽しいひと時を過ごすことができました。



た。そして、東三河地区会員によるAKB (AICHI KENSA BARIBARI) ダンスはいかがでしたか？“ちょっとくだけすぎ”との意見もありそうですが、お許しください。

最後になりましたが、当学会の開催にあたり、ランチョンセミナー、広告協賛にご協力いただきました関連企業、賛助会員の皆様方に感謝申し上げます。また、学会運営にご尽力いただきました実行委員、実務委員の皆様方に心より感謝申し上げます。



## 平成27年度『禁煙週間』及び『歯と口の健康週間』における街頭キャンペーン活動報告

組織部 岩尾 文彦

平成27年5月29日（金）午後12時45分から名古屋駅前ナナちゃん人形周辺で『禁煙週間』及び『歯と口の健康週間』の呼びかけ、啓発資材の配布により県民に対する喫煙の健康影響と歯の健康づくりについての知識普及を目的に執り行われました。

この禁煙週間のテーマとして厚生労働省は「2020年、スモークフリーの国を目指して～東京オリンピック・パラリンピックへ向けて～」、歯と口の健康週間のテーマは「おくりたい 未来の自分に きれいな歯」と題して啓発活動が行われました。

主催は、愛知県健康福祉部で他に愛知県医師会、歯科医師会、薬剤師会、名古屋市薬剤師会、歯科衛生士会、小中学校校長会、愛知県健康づくり振興事

業団、愛知県看護協会、全国健康保険協会愛知支部、健康保険組合連合会愛知連合会、愛知労働基準協会、計12団体が後援し、全体の参加者は55名で愛臨技からは5名（1名は三重県）が参加致しました。

また、メディアの取材もあり夕方のニュースで愛臨技のジャンパーが放映されていたかもしれません。

啓発物品は、リーフレットのほかに歯磨き粉、ポケットティッシュ、ウェットティッシュ、ふせん、歯間ブラシ等で数量は多いもので2000個を1時間ほどで配布致しました。

愛臨技のジャンパーを着用しましたが、当日は気温も高かったので夏用のユニフォームも欲しいと参加された方も感じたのではないのでしょうか。



# 第64回日本医学検査学会報告

豊田厚生病院 迫 欣二

今回の全国学会は佐賀県臨床検査技師会主催の福岡開催で、新幹線や空港からのアクセスも大変便利な広々とした会場での開催でした。「SAGA 創未来」(さが そう みらい)のメインテーマのもと、多くの一般演題の他、教育講演、シンポジウム等、どれを聞くか迷うほどの多くのプログラムが用意されており、なかでも来年の国際学会を見据えた英語発表や、抄録集の廃止、Wi-Fiスポットの設置など、まさに未来を感じさせる学会でもありました。会場前には抄録集のプリントアウトも用意されており、スマホやPCを持たないアナログユーザーに対する心配りも万全でした。

懇親会では佐賀県の名酒のほか、佐賀県出身の“はなわ”のオンステージや、佐賀県のゆるきゃら“かんちゃん”の登場で大いに盛り上がりました。佐賀県は肝癌の発生率が日本一と不名誉な記録がありますが、

県を挙げた肝癌撲滅への熱意を感じることができました。展示会場では「臨床検査技師のためのチーム医療教本」発刊記念の宮島会長によるサイン会も開かれており、こちらも長い行列ができていました。



## 地区だより

### 新城市民病院

神谷 秀典

ここ数年、健康志向や環境意識の高まりからブームとなっている自転車。通勤で利用になっている方も多いと思います。そこで新城市で毎年真夏に行われている自転車のイベント「ツール・ド・新城」を紹介したいと思います。

自転車レースである「ツール・ド・新城」はロードバイク・クロスバイク・ママチャリなどでタイムや周数を競います。本格的に走る方や健康のために走る方、家族で走る方など多種多様な参加者が大勢集まります。レース初心者から上級者まで、実力に応じたカテゴリーが選べるので、まだロードレースにチャレンジしたことのない方でも気軽に楽しめます。競技内容はサイクルエンデューロとクリテリウムの2種目あります。エンデューロは新城総合公園の周辺公道を使用した1周2.6kmのコースで、アップダウン・テクニカルコーナーなどバランスがよく魅力に溢れたコースです。クリテリウムは新城総合公園内を走る1周1.3kmのコースです。適度なアップダウンのあるテクニカルなショートコースです。

さて、私が毎年参加している競技は2時間エンデ



ューロです。「去年の自分に勝つこと」という目標をもち「無事故・完走」をモットーにして参戦しています。健康のためにと始めた自転車ですがいつのまにか趣味になりさらにイベントにも参加するようになりました。2時間走ってゴールする達成感は、なによりも代えがたいものがあります。

また、レース以外にも地元新城の特産品や高校生のパフォーマンスなどイベントも盛りだくさんです。皆さん、日頃の運動不足解消のため健康増進のために新城まで足を運ばれてはいかがでしょうか？



# JAMT技術教本シリーズが5月15日 日臨技から発刊されました。

第1弾は「臨床検査技師のためのチーム医療教本」。これまでのICT、NST、糖尿病療養指導チームなどの活躍にとどまらず、多種多様なチーム医療参画の可能性を実例をもって示す本です。また第2弾として「髄液検査技術教本」が近日発売されます。

**JAMT技術教本シリーズについて発刊！**

- 通称は「オレンジブック」
- 分野ロゴ(ユニバーサルデザイン)
- 掲載内容を象徴するイラストや画像
- 検体検査系は 丸善出版  
生理検査系と管理系は じほう  
が出版を担当。  
書店・ネット書店で取り扱い。

じほう

続々、発刊予定！乞うご期待

“検査技師による検査技師のための実務教本”となるよう、私たちの諸先輩が検査現場で積み上げた「匠の技術・ノウハウ」と最新情報を盛り込みながら、第一線で働く臨床検査技師が中心となって編集と執筆を担当しました。



第64回日本医学検査学会の書籍販売コーナーでは新しい技術教本を購入していただいた方々に、宮島会長のサインをするというイベントも行なわれました。

日臨技理事 中井 規隆

本シリーズは、臨床検査に携わる国家資格者が医療現場や検査現場における標準的な必要知識をわかりやすく参照でき、実際の業務に活かせるようにとの意図をもって発刊されるものです。

今日、臨床検査技師の職能は、医学・医療の進歩に伴い高度化・専門化するだけでなく、担当すべき業務範囲の拡大により、新たな学習と習得を通じた多能化も求められています。

## JAMT技術教本シリーズ発刊予定

### 通称「オレンジブック」

#### ■平成26年度編集部会立ち上げ分

書籍名	出版社	発刊時期
髄液検査技術教本	丸善出版	平成27年6月(予定)
血液検査技術教本	丸善出版	平成27年9月(予定)
輸血検査技術教本	丸善出版	平成27年12月(予定)
神経生理検査技術教本	じほう	平成27年8月(予定)
神経生理検査症例集	じほう	平成27年8月(予定)
循環機能検査技術教本	じほう	平成27年8月(予定)
超音波検査技術教本	じほう	平成27年7月(予定)
臨床検査技師のための チーム医療教本	じほう	発売中!
検体採取者のための ハンドブック	じほう	平成27年秋(予定)

#### ■平成27年度編集部会立ち上げ済み分

書籍名	出版社	発刊時期
臨床化学検査技術教本	丸善出版	鋭意編集中!
臨床免疫検査技術教本	丸善出版	鋭意編集中!
病理検査技術教本	丸善出版	鋭意編集中!
細胞検査技術教本	丸善出版	鋭意編集中!
呼吸機能検査技術教本	じほう	鋭意編集中!
臨床検査技師のための 医療安全管理教本	じほう	鋭意編集中!
臨床検査技師・部門のための 臨床研究ハンドブック(仮題)	じほう	鋭意編集中!

## 平成27年度中部圏支部輸血研修会

テーマ：『輸血検査の初級者への技術指導の標準化に向けて』

会期：2015年9月5日(土)～9月6日(日)

会場：1日目 講義 富山大学附属病院  
総合研究棟

2日目 実技 講義実習棟

定員：講義+実技 50名

受講料：会員 5,000円 非会員 10,000円

宿泊：必要な方は各自で手配してください

プログラム：

1日目【初級者指導のためのテクニカルセミナー  
2014での講義内容を中心に】

- 1) 日常検査で活用しよう！赤血球型検査ガイドラインについて
- 2) 不規則抗体検査の基本テクニックと検出された抗体の解釈について (DVD)
- 3) 消去法および統計法に関する症例問題
- 4) 実技講習会の説明と解説 (輸血検査の基本的な知識を習得するために)

2日目【実技指導に必要な技術の習得と、指導内容の裏付けを実体験する】

- 1) 凝集の目合わせ検体の作成および凝集判定
- 2) ABO血液型 混合凝集の実際
- 3) 不規則抗体検査

申し込み方法：日臨技HPからお申し込みください。

研修会事務局：市立砺波総合病院輸血センター  
岩崎 浩

E-mail：hiroshi.iwasaki@med.tonami.toyama.jp

TEL：0763-32-3320 FAX：0763-33-1497

申込期限：2015年7月31日(金) 17時 厳守

### お知らせ

生涯教育点数が関係する行事に参加される方は、必ず会員証をお持ち下さい。

会員証をお忘れになった方は、自己申請して頂くことになります。

申請用紙は愛臨技HPの各種手続きにあります。

## 基礎講座

病理細胞検査研究班・生理検査研究班

専門教科：20点

日時：平成27年9月13日(日) 9:00～17:00

場所：名古屋大学保健学科 (大幸キャンパス)

テーマ：病理学、エコー像から頸部疾患を学ぶ

講師：1. 超音波の基礎と頸周りの基本画像

渥美病院 小笠原律子

2. 頸まわりの超音波像－甲状腺・耳下腺疾患を中心に

名古屋第二赤十字病院 海老名祐佳

3. 甲状腺の組織と細胞像

野口病院 丸田 淳子

4. 唾液腺領域の組織と細胞像

豊田厚生病院 田中 浩一

5. 鏡検、エコー実習

司会：西尾市民病院 中村 広基

藤田保健衛生大学 刑部 恵介

内容：今回の基礎講座は病理細胞班と生理班がコラボ企画です。各疾患についての講義や鏡検、エコーの実習を通して、頸部疾患について統合的に学べる企画としました。

日本臨床細胞学会のクレジットの申請をしております。詳細は病理班、生理班のホームページをご覧ください。

定員：60名(病理細胞30名 生理30名)

参加費：4000円

申込：愛臨技病理細胞検査研究班HPの申込フォームからお願いします。定員はそれぞれ30名となっております。超音波検査希望の方も病理細胞検査班HPより申し込んでください。

2015年6月10日現在 正会員数 2,961名

※求人情報、理事会・常務理事会議事録はホームページを御覧いただくか、事務所へお問合せください。

# AiCCLS

## 愛知県臨床検査標準化協議会

### 通信 (第36回)

愛知県臨床検査標準化協議会 (Aichi Committee for Clinical Laboratory Standardization : AiCCLS) は、愛知県下の医療施設への臨床検査標準化の啓発活動を軸とした質の高い検査結果の共有維持を目的として、活動しています。

今回は、新しく発刊された刊行物のうち、「細胞診アトラス」についてご紹介いたします。

これから細胞診を学ぶ初心者から経験を積んだベテランまで幅広く活用できるように細胞画像を多数取り入れて編集しました。日常業務のなかで多くの方に活用して頂けると幸いです。今回は、子宮体部内膜シリーズとして (13) から (21) までをまとめて作成してあります。今後、順次あらたなアトラスを作成していきますのでご期待ください。

詳しい内容、購入方法については、愛知県臨床検査技師会HPの臨床検査標準化情報をご覧ください。

(AiCCLS : 愛知県臨床検査標準化協議会)

#### 内臓臓物の分級および鑑別

患者年齢 70歳代 性別 女性 臓器種類 子宮内臓器腫瘍 (フラスコ)

臨床所見 閉経、不正出血

【鑑別ポイント】 鑑別 乏

【細胞診のポイント】 細胞診は子宮内膜癌を鑑別する上で重要な役割を担っており、子宮内膜癌の診断に重要な役割を担っている。子宮内膜癌の診断には、細胞診の結果を参考にしながら、臨床所見や超音波検査の結果を総合的に判断する必要がある。

子宮内膜癌の診断には、細胞診の結果を参考にしながら、臨床所見や超音波検査の結果を総合的に判断する必要がある。

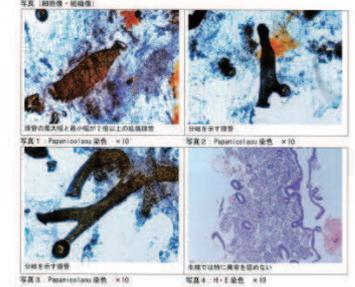


写真1: Papainicolaou染色 X100  
写真2: Papainicolaou染色 X100  
写真3: Papainicolaou染色 X100  
写真4: H-E染色 X100

#### トロホプラスト

患者年齢 70歳代 性別 女性 臓器種類 子宮内臓器腫瘍 (エンドサイト)

臨床所見 不正出血

【鑑別ポイント】 鑑別 乏

【細胞診のポイント】 子宮内膜癌の診断には、細胞診の結果を参考にしながら、臨床所見や超音波検査の結果を総合的に判断する必要がある。

子宮内膜癌の診断には、細胞診の結果を参考にしながら、臨床所見や超音波検査の結果を総合的に判断する必要がある。

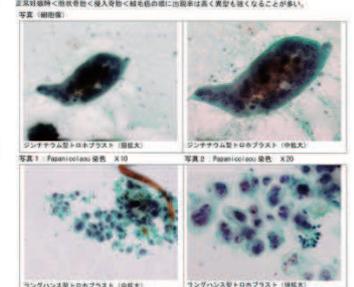


写真1: Papainicolaou染色 X100  
写真2: Papainicolaou染色 X100  
写真3: Papainicolaou染色 X100  
写真4: Papainicolaou染色 X100

#### 樹状細胞および扁平上皮化生

患者年齢 30歳代 性別 女性 臓器種類 子宮内臓器腫瘍 (フラスコ)

臨床所見 月経閉止後9日、経過多月経

【鑑別ポイント】 鑑別 乏

【細胞診のポイント】 樹状細胞の存在は子宮内臓器腫瘍以上の病変を確定する上で重要な所見である。樹状細胞の存在は、子宮内臓器腫瘍以上の病変を確定する上で重要な所見である。

樹状細胞の存在は子宮内臓器腫瘍以上の病変を確定する上で重要な所見である。

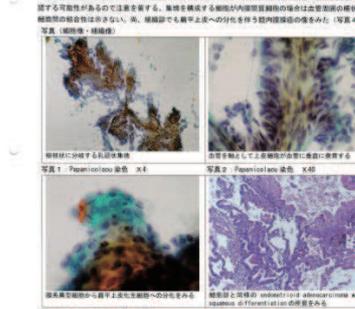


写真1: Papainicolaou染色 X100  
写真2: Papainicolaou染色 X100  
写真3: Papainicolaou染色 X100  
写真4: H-E染色 X100

#### 石灰化小体 (砂粒様)

患者年齢 30歳代 性別 女性 臓器種類 子宮内臓器腫瘍 (フラスコ)

臨床所見 閉経、子宮頸管炎、子宮内腫瘍1.2cm

【鑑別ポイント】 鑑別 乏

【細胞診のポイント】 石灰化小体の存在は子宮内臓器腫瘍以上の病変を確定する上で重要な所見である。石灰化小体の存在は、子宮内臓器腫瘍以上の病変を確定する上で重要な所見である。

石灰化小体の存在は子宮内臓器腫瘍以上の病変を確定する上で重要な所見である。

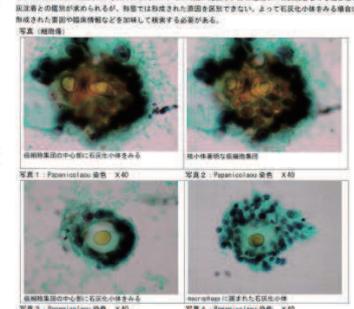


写真1: Papainicolaou染色 X100  
写真2: Papainicolaou染色 X100  
写真3: Papainicolaou染色 X100  
写真4: Papainicolaou染色 X100